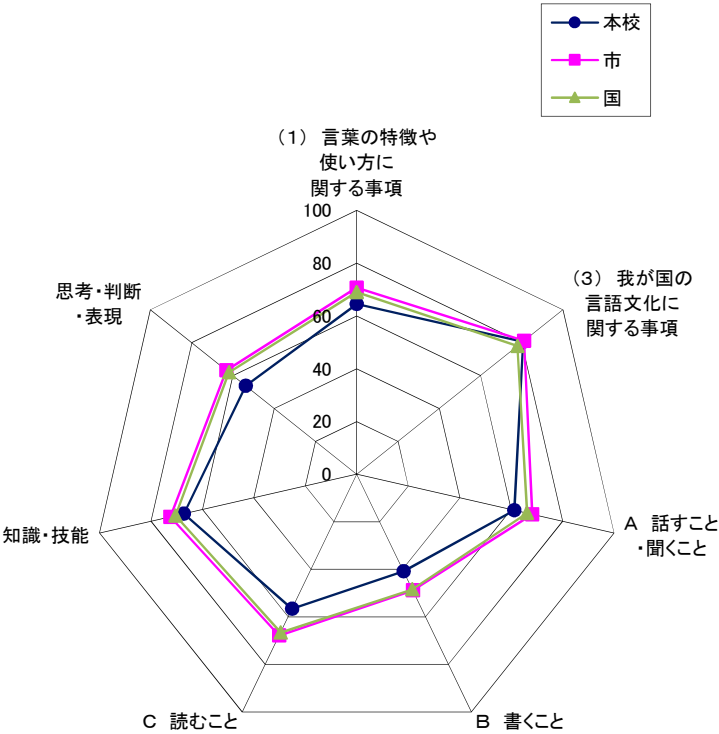


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	64.5	70.7	69.0
	(2) 情報の扱い方にに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	80.6	81.1	77.9
	A 話すこと・聞くこと	61.2	68.2	66.2
	B 書くこと	40.8	48.9	48.5
	C 読むこと	56.6	67.9	66.6
観点	知識・技能	67.2	72.5	70.5
	思考・判断・表現	53.8	63.2	62.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	○言葉に相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える問題の正答率は67.0%で、全国平均より1.8ポイント低かったが、全国平均との差が小さかった。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題では、3問とも全国平均より下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・家庭学習における漢字練習に力を入れ、文章を読んだり、書いたりする上での基礎的・基本的な知識の習熟を目指す。 ・作文、意見文を書く活動や他教科の学習でも、習った漢字を積極的に使って書いていくよう支援する。 ・タブレット学習やプリントを使って、多くの問題に取り組むことで定着を図る。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	○書写における漢字や仮名の大きさ、配列で適切なものを選ぶ問題では、正答率が80.6%で、全国平均より2.7ポイント高かった。	・国語以外の授業においても、文字を書く際に漢字や仮名の大きさ、配列に気を付けて書くよう指導していく。 ・適切に書けている児童を積極的に認め、励ますことで、漢字や仮名の大きさ、配列を適切にすることのよさ、大切さに気付くようにする。
A 話すこと・聞くこと	●話し合いの様子を聞き、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題では、正答率が76.7%で全国平均より8.0ポイント低かった。 ●互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題では、無回答率が4.9%で全国平均を1.9%上回った。	・話し合いをしたり、必要なことを質問したりする活動時には、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えるための、効果的なメモの取り方などを具体的に指導していく。 ・意見や主張を書くときの表現や定型文を紹介し、原稿の書き方を指導していくことで、考えを記述することへの抵抗感をなくし、積極的に取り組めるよう支援していく。 ・作文帳を活用し、家庭でも作文を書く機会を増やす。
B 書くこと	●文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見付ける問題は、正答率が27.2%で全国平均より10.5ポイント下回った。	・互いの文章を読み合う活動を取り入れ、相手の文章のよさや自分の文章のよさを実感できる機会を増やす。 ・自分の考えを効果的に伝えるための方法を丁寧に指導し、理由を述べること、経験を述べること、具体的な数値を提示することなどのよさを実感できるようにする。
C 読むこと	○選択式の問題では、無回答率が0%の問題もあり、物語の描写を積極的に読み取ろうとする意欲の高さが伺えた。 ●登場人物の相互関係について、描写を基に捉える問題では、正答率が56.3%と低く、全国平均を14.3ポイント下回った。	・図書室の利用を積極的に行い、物語を読む機会を増やす。 ・本の紹介、読み聞かせなどの機会を設け、物語の面白さ、楽しさに気付く、進んで物語文と親しめるようにする。 ・授業で物語文を取り扱う際には、登場人物の関係図を、文中の描写を基に書き、丁寧に読み解くことで、登場人物の相互関係に気付くようにする。